

産学交流セミナー

教育研究部会 (関西)

■日時 2001年12月1日(土)
大阪化学繊維会館

「業界人と語ろう!!」をテーマに、今回の産学交流セミナーは催されました。学生達が、プロとして活躍されている先輩と語り合おうという目的で行われたのですが、初めて参加した私も、自分が一講師であることより、「先輩方々の経験を参考にさせて頂こう。」と思いセミナーに出席しました。

参加大学は全部で9校。出席した学生達は圧倒的に女性人が多い中、86名という多くの人達が集まりました。遠くは金沢から出向いて来ている学生もいて、このセミナーに多くの興味と期待を持って参加している事が感じられました。会場に多くの生徒達が溢れる中、副理事長である近沢氏の開会の挨拶でセミナーはスタートしました。続いて、集まった先輩講師の方々が簡単な自己紹介を行いました。その際に注がれる学生達の熱いまなざしに意気込みが伝わってきます。そんな熱気に包まれた中、3つの小集団に分かれそれぞれ移動。そして、「企画」・「生産」・「流通」の各段階に携わり、その道のプロである先輩講師陣が加わりディスカッションスタートです。

各グループに分かれてから、先輩講師より業務内容・作業内容など具体的な自己紹介が行われる事になったのですが、何と予期せぬ出来事。初参加の私とそのトップバッターとしてご指名頂いてしまったのです。一人当たり5分という長さに驚きながら、やはりあっという間に終了してしまいました。もちろん他の先輩方は、わかり易く学ぶところの多い自己紹介をして下さいました。先輩講師陣が一通り自己紹介した後、学生達に質問をお願いしましたが、まだ時間も経っていない為か、エンジンが掛かっていない様子。それではと、順に学校名・名前質問事項を言ってもらい進行していく事となりました。

そのうち、順を追うにつれて学生の皆さんもリラックスしてきた様で、予定のスケジュールを通して話し合いが続けられることとなりました。先輩講師陣も話したいこと、話したい人がたくさんいる様子。始まりの頃と比べて質問の数も増え、内容も現実的なものとなって来たようでした。もっと盛り上

がって質問が出そうな中、名残惜しいですが予定の時間が来てしまい、理事の梅田先生の挨拶をもって終了となりました。

数多くの質問が出ましたが、その中でも「就職」に関する内容がもっとも多かったように思います。現状の学生生活の中で「デザイナーとしてどう学んでいけば良いのか。」という疑問より、「希望の職業、業種に就くにはどう学んでいけば良いのか。」という意識の方が強い様でした。学生の間にしか学べない大切なこともあります。それ以上にこれから目指す、社会人として大切な事を学んでいかなければならない厳しい社会背景があるのだと、思わずにはいられませんでした。又、就職活動の際における合否の判断基準に関する質問や、取得しておくべき資格の有無など、更に就職活動を意識した質問も多々ありました。

私も質問に答えさせてもらう中で、改めて自問自答することもありよい勉強となりましたし、興味深い質問に対する返答に納得させられる事も多々ありました。学生達も将来の為に色々考え、実行していることに感心しました。私は緊張が先に立ち、上手く質問に答える事が出来ませんでした。学生の皆さんは諸先輩講師の方たちからたくさんの為になるアドバイスを貰って帰ったことと思います。是非、このセミナーで得た事を自分なりに活かし、次のステップに向けて頑張ってくれることを願います。

最後になりましたが、この様な貴重な経験をさせて下さった方々に感謝します。ありがとうございました。

参加校 上田女子服飾専門学校 大阪芸術大学 京都市立芸術大学 夙川短期大学 成安造形短期大学 川島テキスタイルスクール
京都精華大学 京都造形大学 金沢美術工芸大学 計9校 (レポート 仁井佳代子)



開会



講師レクチャー

